

Souichiro Higuchi
樋口 聡一郎

執行役員
コーポレートガバナンス本部長

Akio Hosoda
細田 明生

執行役員
エンジニアリング本部長

Compliance

コンプライアンス対談

イトーキは2024年、日本国内での物流業務、シンガポールの子会社における競争法違反行為という2つの事案でコンプライアンス違反を起こしました。当社ではこれまでもコンプライアンス強化の取り組みを進めてきましたが、さらに徹底的なコンプライアンス体制の見直しを進めています。今後は違反にいたる根本的な原因にメスを入れると同時に、社会に誇れる会社に向けた取り組みを進めていきます。

詳細は「開示文書」をご参照ください

https://www.itoki.jp/company/news/2024/1128_info/



愚直にやり続けてこそ、 コンプライアンスは強化できる

樋口 2024年に発生した2件の不祥事の背景には、法令違反やガバナンスの問題がありました。特にシンガポールでの事案に顕著だったように、現地での法令や倫理に対する認識の甘さ、教育の不十分さ、そして本社の関与が不十分だったことが、根本的な原因と考えています。中でも、グループ会社に対する管理体制の弱さが、リスクの早期発見と対応を困難にしていたのではないかと大いに反省しています。

このため、コーポレートガバナンス本部では、事案に対する対応策を進めると同時に、根本的な問題解決を目指して、現地訪問の強化や定期的なミーティング、監査体制の見直しを進めています。単なる形式的な管理ではなく、現場との信頼関係を築き、負の情報も共有されやすい環境づくりを重視しています。現場・現物・現実の3つを重視する三現主義に基づく現地理解と、コンプライアンス重視の姿勢を浸透させることで、再発防止と組織の健全な成長を目指しています。

とはいえ、信頼関係の構築や負の情報が共有されやすい環境といったソフト面での変化は、今日明日にすぐ変わるものではありません。愚直にやり続けることで、いつの間にか変わるものであり、腰を据えて取り組んでいます。

業界No.1のQCD（品質・コスト・納期） 実現に向けて

細田 日本における物流業務の事案に関係したエンジニアリング本部では、コンプライアンス強化に向けた対応として、法令遵守を徹底する組織体制への改組などを行いました。

グループ全役職員のコンプライアンス 意識の強化に積極的に取り組んでいます

現在は法令遵守の土台の上で、「業界No.1のQCD（品質・コスト・納期）」を実現し、リーディングカンパニーを目指すというビジョン実現に向けた取り組みを続け、「信頼」と「挑戦」の両立を図っていきます。一方、コンプライアンス面では、社員教育やルールの徹底を通じて、社会からの信頼を確保し、「工事力」「物流力」「人材力」の強化を通じて、グループ全体のシナジーを最大化し、持続的な成長を実現していきます。

持続的な成長を実現するために、ビジネスモデルの変化に合わせて、物流センターの体制や生産部門との連携方法を見直し、再構築しています。これは、今後の成長に欠かせない重要な取り組みです。すでに実施した関東に続き、関西でも再編に着手し、全国でのオペレーション統一と資産の有効活用を図っています。再編によって、これまで外部委託していた3PL業務※も段階的に内製化した運営体制へと移行させていきます。そのようにして柔軟な対応力とコスト競争力を高め、迅速な意思決定を可能にしていきます。物流における外部依存から脱却し、グループの総合力を活かすことで、エンジニアリング体制だけでなく、イトーキ全体の競争力を一層強化していきます。

※物流業務を荷主企業以外の第三者が一括して受託し、物流の企画・設計・運営を行うこと。

ガバナンス強化に欠かせない 社外取締役の存在

樋口 我々にとって、ガバナンス強化に欠かせないのが、社外取締役の存在です。外部の視点を取り入れることで、経営の透明性と健全性を高め、取締役会の議論をより活性化させることができます。社外取締役には、業務執行者である我々から負の情報も速やかに報告し、外部の視点も踏まえた健全な判断と適切な開示を進めていきます。こうした「外部目線」の導入は、開かれた企業運営と信頼回復に不可欠であり、イトーキはこれを“当たり前のことを愚直にやり抜く”姿勢で徹底し、持続可能な企業価値の向上を目指しています。

細田 私たちエンジニアリング本部では、自社内の業務の効率化を進めることで適正な収益を確保し、協力会社に安定した仕事と収益を提供することで、ドライバーや職人さんの待遇改善となり、業界の仕事が魅力あるものとして選ばれる環境づくりにつながると考えています。今後も、協力会社と一体となりエンゲージメント向上と、信頼を積み重ね、挑戦し続けたいと考えています。

